

東日本大震災・原子力災害からの復興

1 生産基盤の復旧と被災した農林漁業者への支援

- 被災した農地、ダムやため池、漁場、林道、海岸防災林、共同利用施設等の復旧を進めます。
- 個人や共同利用の施設、機械、漁船等の整備を進めるとともに、ほ場整備と一体的な農地集積など、農林水産業の面的再開を推進します。
- 農業用ダム・ため池等の放射性物質対策を進めるとともに、森林整備とその実施に必要な放射性物質対策を一体的に進めます。



海岸防災林の整備

2 避難地域等における農林水産業の復興の加速化

- ICT等の農林水産業の先端技術の開発・実証、現場への普及を進めます。
- 被災12市町村において、農業への企業参入を促進するとともに、農地中間管理機構のコーディネート配置等により担い手への農地集積を加速します。
- 生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を広域的に展開する産地の創出を支援し、営農再開を加速します。
- 水産資源を管理しながら少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」実現に向けた取組を推進します。



被災地域における先端技術の実証

3 風評の払拭

- 効果的な情報発信、県産農林水産物の販路拡大の取組に加え、新品種の開発や機能性、おいしさ等の追求によるブランド力の向上や安定した産地の供給体制の整備などにより、風評を要因とした価格水準低下の固定化を打破し、「ふくしま」ならではのブランド確立を進めます。
- 輸入停止や輸入規制措置を課している国・地域に対して安全確保の取組や魅力等を発信します。



トップセールスによる販売促進

持続的な発展を支える強固な基盤の確保

1 持続可能な生産構造を支える人材の育成

- 就農支援情報の発信、受入体制の整備や雇用就農に向けたマッチング等により、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。また、有機農業に特化した就農支援体制を整備します。
- 「ふくしま農業求人サイト」の活用推進を図り、労働力確保が必要な農業者と女性や高齢者、障がい者、外国人材等とのマッチングを推進します。
- 地域農業の将来像を描く「人・農地プラン」の作成とその実現に向けた取組を支援します。
- 農業短期大学校（アグリカレッジ福島）の統合施設の整備や機能強化を進めます。
- 林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、短期研修を開講するとともに、令和4年度の本格開講に向け、研修施設の整備を進めます。



ふくしま農業人フェア



林業研修拠点施設のイメージ

2 生産基盤の整備

- ほ場の大区画化・汎用化と担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 農業水利施設の長寿命化を進めます。
- 計画的な森林整備等に資する航空レーザ計測を活用した路網整備を進めます。



大区画ほ場整備

3 戦略的な新品種・新技術の開発

- 「ふくしま」ならではの価値向上に資するオリジナル品種や、県産農林水産物の旨みや機能性が見える化技術の開発など、本県農林水産業の生産力・競争力強化のための研究開発を進めます。
- ICTインフラを用いた効果的な水産種苗の放流による資源の安定化を進めます。



リンドウ・カラーの新オリジナル品種

安全で魅力的な農林水産物の供給

1 需要を創出する流通・販売戦略の実践

- モニタリング等による安全確保に取り組むとともに、県内外の消費者、流通関係者に「伝わる」わかりやすい情報発信を行います。
- 認証GAP取得拡大を進めるとともに、GAPへの消費者や流通関係者の認知度向上を図り、県産農林水産物への信頼を高めます。
- 県オリジナル水稻品種「福、笑い」の今秋本格デビューに向けたプロモーションなど、オリジナル米や福島牛等のブランド化に向けた取組を進めます。
- 旬を捉えた量販店におけるフェアやオンラインストアによる販売促進等により、多様な販路の確保・拡大につなげます。
- マスメディアやSNSなど多様な媒体を活用した情報発信により、国内外の消費者等に県産農林水産物の魅力や生産者の誇りを発信します。
- 大手量販店等での県産水産物の常設棚設置や、県産水産物のブランド力強化や流通拡大を図る実証等により、県産水産物の競争力を強化します。



新ブランド米「福、笑い」



量販店に常設棚設置「福島鮮魚便」

2 戦略的な生産活動の展開

- ロボット・AI・高性能機械等の先端技術を活用したスマート農業や革新技術の導入により、生産性向上や経営規模の拡大を図ります。
- 有機農業の取組拡大と有機農産物への理解促進、流通体制の整備を進めます。
- 「福、笑い」等の食味・品質向上の取組や「福乃香」等県産酒造好適米の品質向上・安定生産の取組など、県オリジナル水稻品種を中心とした多様な米づくりを進めます。
- 主食用米から非主食用米等へ転換を強力に進め、水田農業経営の安定化を図ります。
- 果実・花の輸出拡大に向けた生産体制の整備を支援します。
- 本県を代表する野菜（きゅうり、トマト、アスパラガス）の施設化による長期安定出荷や品質の向上、地域の特性を生かした取組を支援し、競争力の高い多様な園芸産地の形成を進めます。
- ももせん孔細菌病対策として、地域のモデル的な共同防除組織等の育成や計画的な防風ネットの設置を支援します。
- AIを活用した肉質評価システムを整備するとともに優良素牛の導入を支援し、「福島牛」のブランド力を強化します。



施設化により強い野菜産地へ



AIを活用した肉質診断

活力と魅力ある農山漁村の実現

1 農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮と県民への理解促進

- 地域ぐるみで取り組む農地の保全管理等の活動への支援や森林整備の推進など、農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮に資する取組を進めます。
- 交流活動を通して、地域内外からの多様な人材と連携した共同活動を推進し、人材確保やコミュニティの維持・向上を図ります。
- 水産関係団体等による子どもたちに対する漁業体験学習や魚食普及、消費拡大に向けた取組を支援します。
- 棚田の魅力や地域資源としての価値を広めるとともに、交流活動等の取組を支援します。
- 農山漁村、森林の多面的機能や地域資源についての情報発信や、本県独自の植樹祭の開催等により、農山漁村への理解を促進します。



棚田地域



鳥獣被害対策の専門職員の活動

2 快適で安全な農山漁村づくり

- 鳥獣被害軽減のための地域ぐるみでの総合的な対策や、インターシップ等を通じた専門職員の確保・育成などの取組を支援します。
- 農業用ため池の改修工事やハザードマップの作成を進め、住民の安全確保を図ります。
- 山崩れ、地すべりなど山地に起因する災害から県民の生命・財産を保護する治山施設の整備を推進します。

3 地域資源を活用した取組の促進

- 「ふくしま満天堂」の取組を通じた販路拡大や意欲ある人材の育成、地域ぐるみの商品開発など、豊かな農林水産資源を活用した地域産業6次化を推進します。
- 中山間地域における定住等の促進に資する周年雇用営農モデルを創出します。
- おたねにんじん等の地域特産物の産地づくりと需要拡大を図ります。



オリジナルブランド「ふくしま満天堂」